

# 中西和久 朗読講座



川端康成「掌の小説」「日向」を朗読してみる  
あなたはワンセンテンスの主役！

説経節三部作「しのだづま考」「山椒大夫考」「をぐり考」や  
コンサートドラマ「ピアノのはなし」など

独自の劇世界を創造してきた中西和久ならではの朗読講座です

## ■講座内容

◎川端康成 “<sup>てのひら</sup>掌の小説” から 「<sup>ひなた</sup>日向」  
(「てのひらの小説」は「たなごころの小説」とも読まれます)

◎語りの系譜—— 説経節実演 「山椒大夫」から  
ほか (テキストは当日配付します)

## ■開講日

① 7月7日 [金] 14:00~16:00 (受付・開場 13:30)

② 7月8日 [土] 14:00~16:00 (受付・開場 13:30)

※ 2回の講座は同じ内容になります。実施日ごとに募集します。

## ■会場

茨木クリエイトセンター2階・多目的ホール

## ■対象・定員

中学生以上の方、各回20人

## ■受講料

1,000円 (開講日当日受付でお支払いください)

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKA メセナカード各会員は 10%引き

## ■申込受付開始日

6月3日 [土] 9:00 (電話にて先着順にお受けします)

## ■申込・問合せ先

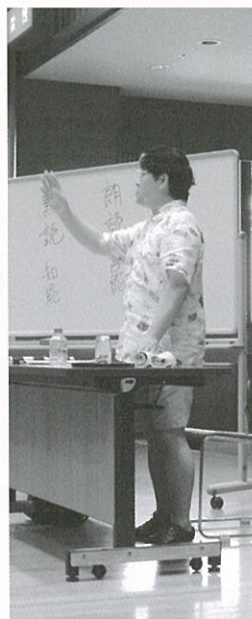
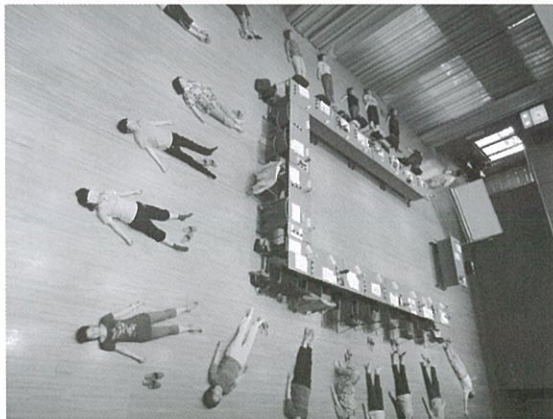
茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055 (クリエイトセンター1階 9:00~17:00)



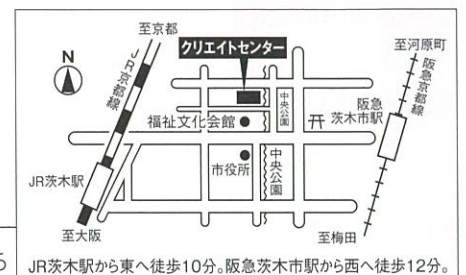
中西和久 なかにし・かづひさ

劇団「芸能座」で俳優修業。初舞台は1977年『浅草キヨシ伝』（作／井上ひさし・演出／小沢昭一）の川端康成役。1986年より自作のひとり芝居『火の玉のはなし』（原作／組坂繁之）をもって全国行脚を始める。『しのだづま考』（作・演出／ふじたあさや）の演技で1991年度文化庁芸術祭賞を受賞。同作品で、国際交流基金主催公演として韓国主要都市を巡演、東欧2ヶ国の国際演劇祭へ招待参加、1998年には新国立劇場開場記念賛助公演を務める。2008年ロシア・エカテリンブルグ国際演劇祭特別賞などを受賞。同年『しのだづま考』モスクワ芸術座公演で絶賛を博す。NHKBSプレミアム『心はものに狂わねど～中西和久説経節ひとり芝居』、NHKBSハイビジョン特集『作兵衛さんの炭鉱』。KBCラジオ『中西和久ひと日記』。福岡県文化賞、松本市民劇場賞最優秀俳優賞、倉林誠一郎記念賞受賞。著書『ひと日記～このひとに会いたい』（海鳥社刊）ほか。京楽座主宰。

■昨年の講座の様子～川端康成の“掌の小説”から『木の上』を朗読しました



■ストレッチや講談も交え、中西さんならではの講座を体験いただきました



◆申込・問合せ先  
(公財) 茨木市文化振興財団 072-625-3055 (クリエイトセンター1階 9:00～17:00)

クリエイトセンター(茨木市市民総合センター) 茨木市駅前四丁目6番16号/072-624-1726